



不妊治療と胚培養士のお仕事



最近、不妊治療ってどんなことをするんですか？ 胚培養士(エンブリオロジスト)とは何ですか？ と質問されることもあり、私たちのお仕事を少し紹介させて頂こうと思います。

ヒト体外受精-胚移植の世界で初めての成功は、1978年にイギリスで報告されました。産婦人科医 Steptoe 博士と生物学者の Edwards 博士の協力によるものでした。1983年には、日本でも第1例目の出産が報告されました。Steptoe 博士が腹腔鏡による採卵と胚移植を担当し、Edwards 博士が精液の調整、媒精、卵子・精子や受精卵操作を担当したといわれています。私たち胚培養士は、この Edwards 博士が先駆者となっております。

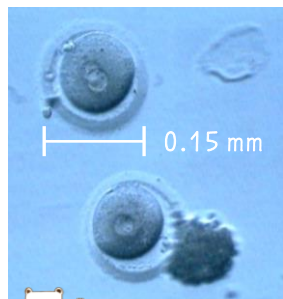
不妊症とは一般的に「避妊しない通常の性交が12ヶ月以上あるにもかかわらず、臨床的妊娠を得ることが出来ない生殖システムの疾患」と定義されます。不妊に悩むカップルは、まず不妊の原因を検査でつきとめることから始まります。それと並行して性交のタイミング指導、人工授精と進んでいき、それでも妊娠に至らない場合は体外受精や顕微授精などの高度生殖補助医療(ART)へと治療は進んでいきます。これらの治療は医師だけではなく看護師、胚培養士がチームを組んで協力して治療に当たります。

胚培養士とは、簡単に言うと卵子・精子や受精卵を専門に扱う技術者です。その仕事内容は、①培養環境の管理や培養液の作成管理、②精液の性状評価・調整、③精子・卵子の培養、④授精操作(体外受精、顕微授精)、⑤受精卵の培養、⑥精子・受精卵の凍結保存など多岐にわたります。例えば人工授精の時は、ただ採取した精液をそのまま戻すのではなく、私たち胚培養士が精子の濃度やどれだけ動いているかという運動率を顕微鏡で評価したのち、特殊な培養液で動いている元気な精子だけを分離してから子宮内に戻しています。人工授精までの治療は外来の診察室で行われますが、その次のARTからは病棟の生殖治療室へと治療の場は移ります。

体外受精(IVF)とは、エコー下で卵胞を穿刺し、卵胞液の中から顕微鏡下で確認して得られた卵子に精子をかける受精方法です。一方で、顕微授精(ICSI)とは、IVFの手技では受精卵が得られない難治性の受精障害を有するカップルに対して行われる受精方法です。卵子を採取するまでは通常の体外受精と同じですが、この後特殊な装置を用いて、卵子1個に精子1個をガラス管を用いて直接注入します。これらの方法で得られた受精卵を通常は5日間培養器内で培養し、子宮内に移植します。余った受精卵は凍結して保存し、次周期の治療に用います。

おわりに、女性の晩婚化や社会状況により、高齢産婦を望む夫婦はますます増加していくことが予想され、生殖医療のニーズは増える一方です。医療技術が進む中、現在の生殖補助医療(ART)の技術を見直し、さらなる技術の向上に日々努力していきたいと考えております。

生殖医療室 胚培養士 雪上 雪音・渡邊 瞳



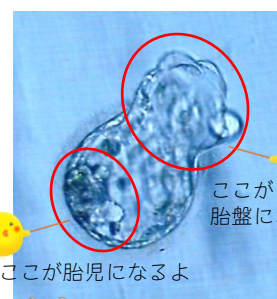
受精1日目



受精3日目



受精5日目



着床直前



「おぎゃー!!!」 in 助産院 Sun

院内助産院でお産をされたお母さんにお話を伺いました。
今号は1月に出産された 藤永 尚子さんです。

現在の心境は？

3人目の出産で、上2人が赤ちゃん返りをして接し方について悪戦苦闘していたのが落ちつき、里帰り出産後、産後1か月で自宅に戻り5人(夫・長女5歳・長男2歳・次女 現在生後3か月・私)での生活リズムがやっと整いホッとしているところです。

助産院でお産をすることで不安な事がありましたか？

長男を助産院で出産しているのですが、お産することについて不安はありませんでした。しかし、今回の妊娠中は、尿検査で糖がひっきり追加検査をしたり、34週で里帰り後に逆子になり助産院での健診の許可がなかなか出ず、助産院で出産できないのかな？という不安がありました。

「いざ、お産！」の時、どうでしたか？

2人目を助産院に着いて30分ぐらいで出産し、出産時間事態も3時間程度だったこと、5歳の長女を立ち会い出産させたいので一緒に連れていくために、今回は早めに入院しようと考えていました。夕方から前駆陣痛が時々あり、その陣痛が徐々に強くなり陣痛間隔が10分～15分間隔になり、助産院に行こうかどうしようか1時間ぐらい悩んでいました。頼りになる夫はいないし、子ども2人は起きてる時間だし、突然予定にない母もお産に立ち会いたいと言出し、自分の中ではまだ入院するには早いと思いましたが、母と子ども2人を連れていく時間を考え助産院へ。そして、そこから長くなかなかお産は進まず、散歩や入浴、四つん這いなど産婦を満喫させてもらいました。いよいよ出産するという時は突然来て、それまでの陣痛とはくらべものにならないほどの陣痛が最後に1度あり、その陣痛でスルッと産まれました。テレビなどで見る、「赤ちゃんの頭がでてきましたよ」や「いきんで」などのことはなく、「一気に全部出た!!」という感じでした。

助産院でお産をされて、過ごされてみてどうでしたか？

お産の最中、上2人の子どもが飽きないように関わって頂いたことが子どものことを気にせず、お産に集中できました。入院中はのんびり過ごせました。助産師さんの子育てやお産の話等、参考になる話もケアの最中に聞けるところが楽しい思い出になりました。

また、お乳の状態がまいちで、このまま帰ったら乳腺炎にすぐなるのではと不安になりましたが、少しでもいい状態で退院できるようにフォローしてもらえたことがよかったです。退院後の母乳外来で継続ケアもしてもらえるところがいいです。

ご家族の反応は？

夫は、「出産早かったね」と話していました。長女は、「赤ちゃんかわいい」「抱っこしたい」といい、抱っこしてすぐに「まきちゃんおもーい。」と寝かせ、その動作を繰り返しています。最近では次女が泣いていると抱っこしてあやすようになり、姉の顔になってきました。

**「助産院で出産を！」と検討中の皆さんへ
メッセージをお願いします！**

自分自身の中でこんなお産をしたいと考えている人や子どもを立ち会い出産したいという人にいいと思います。健診を30分枠でとっているのでも、健診の中でお産への思いを落ち着いた雰囲気ですべて話すことができます。また、お部屋の状況で可能なら、出産中に出産後のお部屋が家族待機の部屋として利用できるのでも、家族も休憩をとることができます。産婦本人だけでなく、家族みんなで新しい家族を迎える場として、助産師さんの温かいサポートを十分得られるよい施設です。

『母の気分になっている姉』

思い出の品があれば教えてください☺

これは、長女が出産中に書いた次女のためのネームバンドです。

まき
藤永 眞綺 ちゃん
平成27年1月18日 生まれ

センター稼働状況

分娩数	59件	緊急帝王切開	6件
母体搬送	3件	NICU稼働率	75.0%
新生児搬送	0件	MFICU稼働率	100.0%

(平成27年4月)

「こいのぼりとピクニック♪」
編集後記

皆さん こんにちは。G・Wは楽しく過ごされたでしょうか？新年度、新学期が始まって2ヶ月。疲れがたまり、体調を崩されている方も多いようです。これから梅雨の時期になりますが、ジメジメに負けず元気に乗り切りましょう♪

(T.O★N.S★Y.M★K.H.)

by. お飾り隊



周産期センター
キャラクター
マミー&メイ